日置地区造園協会総会

会長に坂口氏選出

坂口力新会長

日置地区造園協会（西孝章会長）は15日、日置郡郡山町の郡山温泉で第16回定期総会を開き、協会組織の体質強化や技術向上などを柱とした新年度事業計画を決めたほか、任期満了に伴う役員改選では、新会長に坂口力氏（㈲坂口造園）を選出した。

総会では、初めに西会長が「昨年度は、事業計画に基づき、奉仕作業や苗木無料配布など、計画通り推移できました。また、我々造園業界は依然厳しく、受注が少ない中でもそれぞれが頑張っていただきたい。市町村合併や公共事業の削減など、問題は山積みですが、会員同士の協力体制を強固なものとしお互い知恵を出し合って、この難局を乗り切ってほしい」と挨拶。

続いて、坂口正仁氏（㈲坂口虎竹園）を議長に議事に入り、14年度事業・会計報告、15年度事業計画・予算案など6議案を慎重に審議、可決承認した。また、任期満了に伴う役員改選では、新会長に坂口力氏、新副会長に坂口正仁氏を選出した。

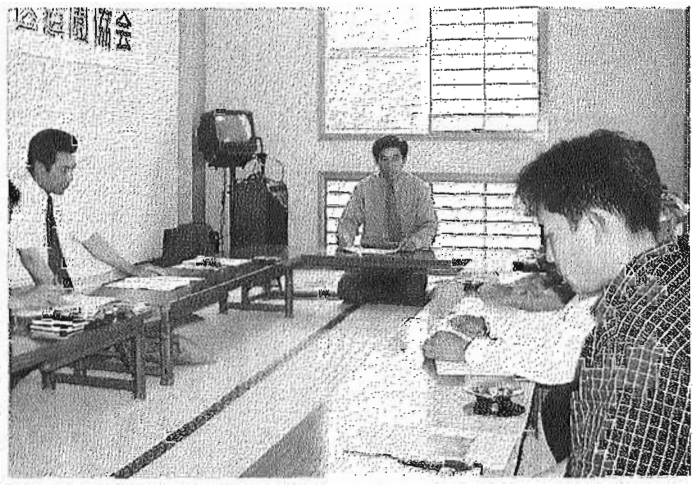
最後に、坂口力新会長は「厳しい状況を乗り切るために、みんなで力を合わせ、前向きに頑張っていきたい」と決意を述べた。

新年度事業計画は、①協会組織の体質の強化②会員同士情報交換及び定例会の活性化③技術向上の推進－など。

新役員は次の通り。

会長＝坂口力▽副会長＝坂口正仁▽理事＝尾堂豊二（㈲尾堂造園）▽会計＝臼井正和（㈲臼井ガーデン）▽監事＝西孝章（㈲郡山造園）吉峯勝三（㈲南薩緑化造園）

新年度事業計画などを決めた総会
＝鹿児島市のアクアガーデンホテル福丸で


強固な協力体制を呼びかけた総会
＝郡山町の郡山温泉で

鹿児島市認定職業能力開発連絡協議会総会

森山会長再選

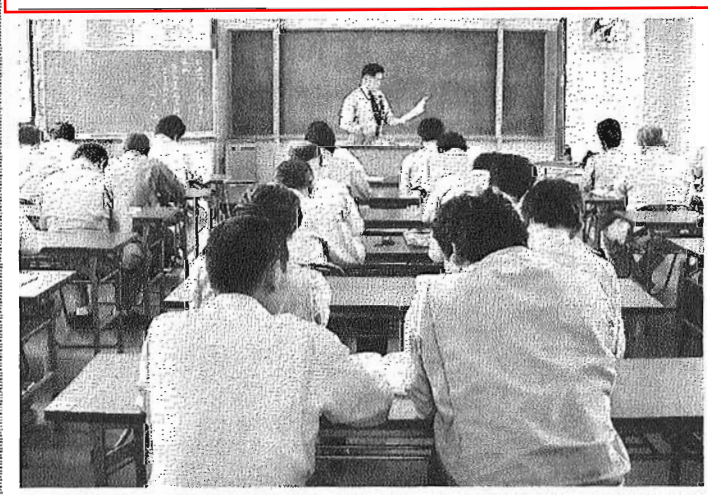
後継者の育成に尽力

鹿児島市認定職業能力開発連絡協議会（森山清隆会長）は15日、鹿児島市のアクアガーデンホテル福丸で第27回通常総会を開き、技能体験教室の推進と各指導内容の見直しなどを柱とする新年度事業計画を決めたほか、任期満了に伴う役員改選では、森山会長を議長に選出して議事に入り、14年度会務・決算、15年度事業計画・予算案など6議案を審議、可決承認した。また、任期満了に伴う役員では、森山会長以下全員の留任を決めた。

総会では、初めに森山会長が「取り巻く環境は依然厳しいが、各人のご協力を頂きながら後継者の育成に尽力し、各種事業を展開してまいりたい」と挨拶。

続いて、森山会長を議長に選出して議事に入り、

新年度事業計画は、①21世紀に羽ばたく「技能士・さつまの匠」の育成②ネットワークで築く認定校の充実（事務のOA化及び統一化など）③技能体験教室の推進と各指導内容の見直し④職業訓練開発校間の交流研修の推進⑤各種校長会並びに研修会への参加協力－などを掲げている。


機械等設置届出等について解説した講習会
＝鹿児島市の谷山建設会館で

県建設業協会谷山支部

計画届作成講習会

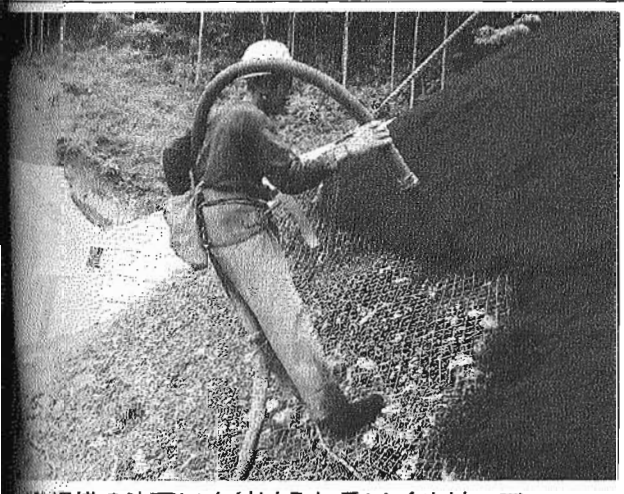
労働安全法に基づき適正に

県建設業協会谷山支部（八反田国弘支部長）は15日、鹿児島市の谷山建設会館で計画届作成講習会を開き、会員ら約40人が出席、労働安全衛生法に定める設置・計画届出の概要や届出のポイントなどについて説明を受けた。

冒頭、事務局長が「昨年に引き続き講習をしてもらいますが、労働安全法に基づいての届け出がスムーズにできるよう真剣に学んでください」と挨拶。鹿児島労働基準監督署の小門隆志厚生労働技官が早速、講演に移った。

講演にあたり、小門技官が昨年度は全体的に差しとめ命令が57件あったほか、変更命令や変更確認なども多かったと指摘し、これらの中で法定勾配でないものなどがあったことなど例にあげ、具体的に説明した。引き続き、労働安全衛生法に定める設置計画届出の概要、機械等設置届出のポイント、建設工事計画届出のポイント、足場・架設通路の設置・変更届作成要領、型わく支保工の設置・変更届作成要領、軌道装置設置届作成要綱のほか、掘削の高さ又は深さ10㍍以上となる地山の掘削、最大支保間50㍍以上の橋梁、ずい道等の建設工事（トンネル）、同（シールド）、圧気工法による仕事の計画届作成要領等を重点に講義。また、施工体制台帳の作成ポイント等についても具体的な記載の方法などについても解説した。参加者はメモを取るなどして熱心に聴き入った。

なお、今日の研修会の中身を会社に帰り社内に伝達を確実にしてほしいと付け加えた。


防堤横の法面に吹付けられるソイルリーフ
＝郡山町の現地で

ソイルリーフ試験施工

環境にやさしいリサイクル工法

セブン産業㈱（尾口傳吉社長）と㈲サンリーフ（園田浩幸社長）が共同開発した循環型緑化基盤材「ソイルリーフ」の厚層基材吹き付け試験施工が15日、㈱大迫組（大迫尚嗣社長）が施工する日置郡郡山町仕明の火山砂防工事の法面現場で行われた。

ソイルリーフは、畜産糞尿や一般家庭から出る生ごみ、剪定枝葉等を高温発酵精製してから再利用するため、化学肥料を必要としない完全循環型の安全かつ優良な植生基材。生ごみや畜産廃棄物等の再資源化を図り、環境にもやさしく安価な料金で処理できるリサイクル工法とあって、発注官庁からも注目を浴びている。

白付けはソイルリーフ使用でわずか1時間

県建設業協会宮之城支部

理事補選で久保氏選出

県建設業協会宮之城支部（白川田廣八支部長）は13日開いた第42回通常総会で理事の欠員に伴う補選を行い、久保敬作氏（㈱久保興業）を理事に選出した。

持ち、透水性・保水性に優れたソイルネットグリーン（土壌緑化安定団粒化剤）とヤマハギやヨモギなど6種類の種子を混合して、下請けの葉月工業㈱の社員が手際良く法面に吹き付けを開始。今回は約170平方㍍の法面にラス網を設置しての吹き付けであったが、傾斜角30度程度でもラス網を使用しなくても吹き付け可能だという。

なお、ソイルリーフを用いた工法に賛同した県内企業17社が参加して循環型緑化工法推進協会（熊谷慶喜会長）が3月に設立。昨年末、伊集院耕地事務所や郡山町役場の関係者立ち会いのもと郡山町の現場で行なわれた試験施工においても、同条件で材料を使用した部分と未使用の部分を一定期間比較調査したところ、その植生効果は歴然で多数の参加者に好評を得ている。

21日、県政説明会

県は21日午前10時から、鹿児島市の県庁講堂で15年度県政説明会を開く。

県住宅供給公社

松元ＮＴ新団地名称が決定

「ガーデンヒルズ松陽台」に

県住宅供給公社は14日、日置郡松元町の松元ニュータウン新団地名称の募集を行っていたが、選定の結果、最優秀賞に「ガーデンヒルズ松陽台」に決まった。

応募点数は1121点、応募者は422人（うち県外から5人14点）。なお、表彰式は今月下旬、同公社会議室で予定している。

さん（鹿児島市）と井上淳哉さん（福岡市）の2人。

選考理由としては、団地が緑豊かで眺望のよい高台にあり、環境共生モデル団地として位置付けられていることや最近人々に親しまれ、人気のあるガーデニングにもマッチし、各住宅の庭先が花いっぱいで楽しくなる団地をイメージさせ、言葉の響きもオシャレであることなどから選定した。